



秦野市立

桜土手古墳展示館 だより



Vol.62 SAKURADOTE ARCHAEOLOGICAL MUSEUM

平成 29 年度 秋 A 号

平成 29 年度 第 4 回 「ミュージアムさくら塾」開催のお知らせ

本年度第 4 回のミュージアムさくら塾の開催が決定いたしました。

今回のテーマは「秦野の新東名関連遺跡の発掘調査について」です。

日 時 平成 29 年 11 月 11 日(土)

午前 10 時から正午まで

場 所 桜土手古墳展示館 映像室

申し込み 10 月 15 日(日)より電話にて事前申し込みを受け付けます。定員は 70 名です。

(申し込み先着順)

申し込み先電話 桜土手古墳展示館

0463-87-5542

参加費 200 円

内 容 秦野～伊勢原間の新東名関連遺跡発掘調査成果報告展(秋季特別展)の期間中に実際の調査担当者による記念講演を行います。

講 師 公益財団法人かながわ考古学財団

加藤久美氏・福佐美智子氏





柳川竹上遺跡



菩提横手遺跡

秋季特別展 **かながわ・秦野の歴史 2017** にて **速報展示**

速報展示品 菩提横手遺跡 古墳からの出土品

展示期間 11月7日(火)～11月19日(日) **期間限定**

平成 29 年度

秦野市指定重要文化財特別公開のお知らせ

秦野市では文化財保護強調週間に合わせ毎年 市指定の重要文化財の特別公開を行っています。今年の公開内容以下のとおりです。お誘いあわせの上、ぜひお訪ねください。

(法事などにより拝観できないことがあります。その場合はご理解いただけますようお願いいたします。)

公開日時 平成29年11月2日(木)～11月5日(日)

午前10時より午後3時まで

(桜土手古墳展示館のみ午前9時から午後5時まで)

拝観無料 事前申し込み不要

1. 宝蓮寺 蓑毛674番地 木造十王像等諸仏
2. 極楽寺 鶴巻1861番地 木造十一面観音菩薩立像
3. 龍法寺 南矢名1533番地 木造毘沙門天立像、木造不動明王立像
4. 桜土手古墳展示館 堀山下380-3 二子塚古墳出土 銀装圭頭大刀



宝蓮寺 木造十王像



極楽寺

木造十一面観音立像



龍法寺

木造不動明王立像



桜土手古墳展示館 二子塚古墳出土 銀装圭頭大刀

展示館だより ミニレクチャー 秦野の原始・古代の遺跡めぐり番外編「中世」

今回は2011年の展示館だよりに掲載した秦野の歴史についての解説の第6回目の再掲載です。
今回が「秦野の原始・古代の遺跡めぐり」の最終回となります



東田原中丸遺跡出土 白かわらけ

先土器、縄文、弥生、古墳、古代と続けてきました「秦野の原始・古代の遺跡めぐり」も 古代まで終了し、今回は番外編として中世をとりあげ 今回のシリーズを完結させていただきます。

東田原中丸遺跡は古墳時代前期の集落が確認されている遺跡ですが平成12年の公園整備に伴う発掘があり発見されたものがあります。発掘当初、古墳時代のムラを想定して調査が行われましたが、発見されたものは造成の跡である段切

り遺構、掘立柱建物やかかわらけ、中国産磁器であり、いずれも中世のものでした。

そして、ほかの中世の遺跡と比較すると、東田原中丸遺跡は、在地領主の居館跡であることがわかりました。果たして、この館にはだれが住んでいたのでしょうか？

秦野地域は、古代に余綾郡幡多郷と呼ばれていましたが、その後、波多野庄と呼ばれていたと言われています。『吾妻鏡』によれば、そこは源氏の御家人である波多野氏の拠点であったことがわかります。

波多野庄は、藤原道長の孫娘冷泉宮儂子から養子関係を通じ摂関家領となっていました。その後、源頼義が相模守に任じられたときに藤原経範がこれに従い、頼義に属したために長元年中(1028～36)に波多野庄を領します。そして名を藤原から波多野に変えたと考えられています。その後、源氏の御家人となった波多野氏は、『保元物語』や『吾妻鏡』といった文献に登場します。

平成12年の発掘調査後、第3次調査として、中世前期の在地領主の館周辺において中世の遺構がどのように展開しているのかを明らかにするために分布調査を平成13年から平成21年まで実施しました。調査の結果、金剛寺から南西に100mほどに位置する周辺に中世期の遺物や遺構が存在する範囲があることが明らかになりました。

そのため、平成22年から24年まで第4次調査として、その遺構、遺物が集中した範囲の一部の発掘調査を行い、中世の掘立柱建物や竪穴状遺

構などを確認しましたが、遺物はほとんど出土しませんでした。

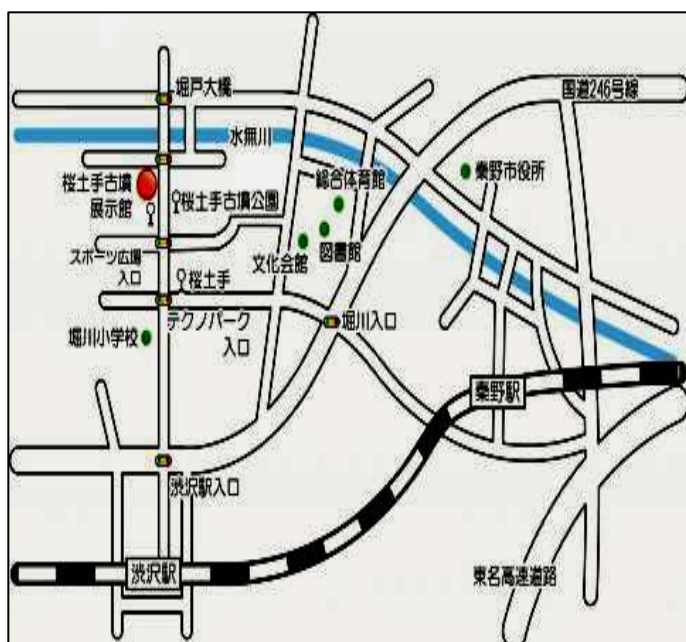
また、金剛寺の創建は、中世前期に遡る可能性があります。東田原中丸遺跡周辺は今も田園風景が見られ、大規模開発がほとんどないため、この風景は中世にみられた風景とあまり変わりがないと思われます。

平成25年度に行われた今泉の区画整理事業に伴う今泉荒井遺跡群の発掘調査では、竪穴状遺構や地下式坑など多くの遺構が確認され、陶器、磁器などのほかに石臼が出土しました。

近年、公益法人かながわ考古学財団により行われている新東名高速建設に伴う発掘調査では、蓑毛に所在する蓑毛小林遺跡において、中世の竪穴状遺構や土坑のほか、土石流の痕跡が発見されています。今後、発掘調査が進む中で、中世の新しい発見があるかもしれません。



今泉荒井遺跡群出土 石臼



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

- ☆小田急線渋谷駅北口より徒歩20分
 - 〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
 - 〃 バス秦08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩10分
 - 〃 渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
- ☆小田急線秦野駅北口より
 - 〃 バス秦54 渋谷駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分
 - 〃 バス秦08 渋谷駅北口行「桜土手」下車 徒歩10分
- ☆ 入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜休館) 駐車場有(入館は午後4:30までです)

桜土手古墳展示館だより Vol. 62号 平成29年度秋A号

発行日 平成29年10月15日

編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ：[桜土手古墳展示館](#)